



神馬充匡

じんば・みつまさ

有限会社神馬建設
代表取締役社長

北海道函館市生まれ(40歳)。苫小牧高等学校土木科卒業し、苫小牧市の建設会社で土木業務に従事。道内や関東での業務経験を積んで、2010年に創業し、専攻取締役就任。18年に地元の建設士ともない代業取締役社長に就任し、現任に就任。

菊池裕菜・ブレインマークスに
ジネスココンサルタンツ 神馬社
長はどのような動機で建設の道
を歩むことになったのですか。
神馬充匡・神馬建設代表取締役
社長 実家が祖父の代から建築
屋を営んでいたのですが、その会社
を継ぐ形でこの道に入りました。

10年後をリードする 未来企業 94

「お客さんの笑顔」を原動力に 家づくりで地域のニーズを満たす!!

北海道函館市で代々、地域特性を生かした家づくりを追求している神馬建設。家づくりに対するこだわりは当然のこと、人材育成やサービスに関しても地域のニーズを重視した取り組みを展開している。「お客さんの笑顔を直接見られるのが、この仕事の最大の魅力」と話す神馬充匡社長の夢と思いに、関ブレインマークスの菊池裕菜氏がアプローチした。



神馬建設の事例

苫小牧市の高等専門学校で土木を学ぶ。同じく苫小牧の建設会社で働いた後に地元に戻り、本格的に建築の仕事に携わるようになり、2代目になりました。当社では私で3代目になります。
菊池 家を建てるという決意したきっかけをうかがいたいですか。
神馬 地元のお客さんと意思を
していたときに「お父さんの仕事を見ていたか。あなたのお父さんは前々以上のお仕事をしてくる」といわれたことがあり
ました。そのときに、親と向き
合ってお客さんから感謝してもら
える。この仕事に魅力を感じたの
です。だからこそ、今もお客さ
まに喜んでもらうことが私にと
って最大のモチベーションにな
っています。

菊池 神馬社長は2018年に
代表取締役社長になったわけ
ですが、そのときに覚悟したこと
はありますか。
神馬 先代である父はいわゆる
昔ながらの職人気質で、現場で
職人を引っ張っていたタイプで
した。しかし、自分にはそいま
での現場経験はなかったため、
それをマネすることはできませ
んでした。そこで、前職で学ん
だ土木・建築の知識を生かしつ
つ、「みんなが働きやすい環境
をつくるにはどうすればいいか」と
いうことに集中し、会社経営
に取り組みました。
菊池 具体的にどういったこ
とに取り組まれましたか。
神馬 北海道には季節雇用(冬
期のみ雇用)という就労形態
があるのですが、それでは若い
職人たちは技術をシッカリと習
得することができませんし、取
入を安定させることもできませ
ん。そこで、当社では過半数用
を原則とし、高齢の職人には指
導者になってもらうことで年を
とつても給料を下げずすむ仕
組みを導入しました。結果、こ
の業界では珍しいとされてきた
働き方改革も普及にすすみ、休
みもシッカリととれるようにな
りましたし、有給休暇もとりや
すい職場環境になりました。



社内研修の様子

菊池 休暇が増えることで売上
げなどに影響はありませんでし
たか。
神馬 最初はそういった気遣いも
あったのですが、この仕組みを
取り入れてみると驚くほど業績
は伸びていきました。安定して
働ける環境を整えたことで、仕
事の質が向上し、それがお客さ
んにも伝わり、売上げも伸びて

いきました。
菊池 お客さんにはどのような
様子を打ち出していますか。
神馬 モットーは、「1棟1棟
、品質にはトコトンこだわっ
ています。まずはお客さんがず
っと住みつづけることを重視し
て、お客さんと一緒に決めて決
合いながら3〜6か月ほどかけ
て計画を確定し、標準やわか
り所、浴室などの設計はもちろ
ん購入する機器のスペックなど
についても念入りに検査し、あ
らゆる面でお客さんに納得して
いただけるようにしています。ま
た、地震の多い土地柄というこ
ともあり、大震災にも耐えられ
る「耐震等級2」を標準として
いるほか、冬の寒さにも負けれ
ない高気密・高断熱の構造にも力
を入れ、丈夫で気持ちのいい家
づくりを心がけています。
菊池 地域に密着した仕事ぶり

も高い評価につながっているよ
うですね。
神馬 そうですね。私たちの業
務範囲は基本的に車で1時間ほ
どの地域なので、トラブルがあ
ってもすぐに駆けつけられるよ
うな体制を整えています。修理
やメンテナンスを含めて水ま
くお付き合いしている点も、明
らかに大手ハウスメーカーとは
異なります。
菊池 今後、チャレンジしたい
ことについてお聞かせください。
神馬 会社を継いだときに思っ
たのは「今までに培ってきたも
のをベースとしていかに新しい
ことに挑戦できるか」というこ
とでした。働き方改革を進めし
たのはその第一歩で、これから
はお客さんの目標に立つ提案
をさらに強化していきたいと思
っています。長年地域に密着し、
この地域ニーズに対応しつづ

てきた会社だから
こそできる顔の見
えるきめ細やかな
サービスを展開す
ることで、ブラン
ディングをはかっ
ていこうと思っ
ています。また、職
人のさらなる技
術向上に努めたり
社内でのキャリアア
ップ制度を設けたり
することで、職人
たちのモチベー
ションをさらに高
めたいと思っ
ています。そうやって、やわら
かに地域や職人のニーズに対応
していくことで、理想的な組織
をつくりあげていきたいです。
菊池 御社の所在地である湧別
町では、今後、どういった地域
のニーズが高まってくると思



施工現場

ますか。
神馬 湧別町は人口が少なく、
都市部からも遠いので、これか
らはずらに「みんなが協力し合
って生活する」ことが大切にな
ります。よく「まちおこし」と
いう言葉が使われていますが、
当地の場合は地域住民の生活を
守る「まちのこし」から始め
なければなりません。そのため
には地域に埋もれている資源を
見出し、活用しなければならな
いので、いずれは地域の人が
それぞれ能力を持って寄っ
つていけるようなネットワーク
を構築したいと考えています。
菊池 これからも地域のため、
従業員のために全力を注ぎつづ
けてください。



菊池裕菜

きくちゆうな

株式会社ブレインマークス代表取締役社長

2018年にブレインマークス入社。食
育サービス運用やCRMシステムの運
営・改善、企業文化づくりなど多岐にわ
たる業務を統括。物価はしないチャレ
ンジ精神と止めぬかの気遣いを武器に、
顧客との関係構築に従事。現在はニ
ーズを基盤として取り扱う開発内容を生か
し、サービス業務改善、満足度向上に力
を注いでいる。

10年後のためのアドバイス!

地域で2代つづく建築会社といえど、
周囲で言われるイメージがあるかま
しませんが、神馬建設は地域の事
業に目を向けながら、更に業態に新
業態改革をすすめています。高齢化
人材不足や賃金を抑える建築業界に
あいて、いち早く働き方改革を推進
できたのもその一環です。また、最
近ではリフォームや生活周りのサー
ビスなどにも注力し、これまで以上
に地域のニーズに対応したビジネス
を展開しています。インターネット
を通じての営業発信や近隣地域との
ネットワークづくりにも取り組んで
います。引きつづきこういった取
組みを推進し、湧別町ならではの
新しいビジネスモデルをつくりあげ
てほしいと思います。